

## 重要 サポート会員・両方会員さんへ

### 「緊急救命講習及び事故防止」に関する講習について

令和元年度より国の要綱が改正され、援助をおこなう会員全員に5年に1回の標記講習会受講が義務付けられました。

緊急救命講習及び事故防止に関する講習につきましては、年1回開催のフォローアップ講習会または年3回開催の「会員になるための講習会」の中で必要項目を受講していただきますよう、サポート会員・両方会員の皆様にはお願い申し上げます。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在講習会の内容を一部変更して開催しております都合上、皆様への講習会のご案内を見合わせているところです。

つきましては、日程が決定次第別途ご案内致しますので、下記の要領でご出席いただきますようよろしくお願いいたします。

#### 記

- 1.対象者・・・サポート会員・両方会員で入会して5年以上経過した方
- 2.開催日・・・未定(日程が決まり次第別途ご案内します)

\* 入会后5年以上経過していない会員でも大歓迎です。



### センターからのお願い

#### お知らせ

### ご注意ください!

#### ♥会員のみなさまへ

・住所、連絡先の変更や、出産情報(赤ちゃんの名前や生年月日など)は、必ずセンターにお知らせください。

#### ♥利用会員さんへ

・サポート会員さんへ援助をお願いしたら、センターへ必ず連絡してください。(無届の場合は、保険の対象になりません。)

#### ♥サポート会員さんへ

・活動報告書は、翌月の5日までの提出となっております。ご協力をお願いします。

◆お引越などで、センターからの文書が宛先不明で返ってきたり、連絡がとれない場合は、退会処理をさせていただきます。

◆子どもさんが生まれても、センターに登録がないとサポートの対象とならない場合がありますので、必ずセンターにご連絡ください。

◆登録された末子が小学校を卒業(子どもさんに障がいがある場合は18歳まで)された方は、退会の手続きをさせていただきます。



#### 【問合せ先】

社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会 (鹿屋市ファミリー・サポート・センター事務局)

〒893-0009

鹿屋市大手町1番1号 リナシティかのや 2F 福祉プラザ内

電話：(0994)44-2277 FAX (0994)44-7757

Eメール：fami-suppo@kanoyasyakyou.jp



# 鹿屋市 ファミリー・サポート・センター だより

No.27  
2020年11月発行



平成18年に鹿屋市ファミリー・サポート・センターが開設され、今年で14年目を迎えることとなりました。皆様の子育て支援に対するご理解とご協力に深く感謝いたします。

さて、昨年度より、サポートの利用件数が大幅に増え、日々サポート会員さんたちが活動されている様子が目に浮かび、とても心強くそして有難く感じます。

ファミリー・サポート・センター事業は、子育て支援に協力して下さる方がいらっしゃるからこそ成り立つ活動です。

これからも、地域で子供さんの成長をあたたかい目で見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



# 令和元年度ファミリー・サポート・センター年間行事報告

## 全体交流会 7月17日(水)鹿屋市社会福祉会館にて(30名参加)



### ♥楽しく体を動かすレクリエーション♥

先生のかげ声に合わせてゲーム感覚で体を動かしながら頭も使いました。



健康運動指導士  
川尻 彰 先生



### ♥体験発表

利用会員さんとサポート会員さんの体験をお話していただきました。

### ♥グループで情報交換

子育ての悩みや気になること、話はつきません。



## フォローアップ講習会11月15日(金) リナシティかのやにて(23名出席)

「赤ちゃんと子どものことを考えましょう」

「乳幼児の身近な事故の対応と心肺蘇生法」



鹿屋市保健福祉部  
健康増進課  
岩元 智美 主査

中央消防署救急隊



## 講習会 年3回 リナシティかのやにて

### ●会員になるための講習会です●

- 第1回講習会 R1.5.23(木)
- 第2回講習会 R1.9.19(木)
- 第3回講習会 R2.2.16(日)

3回の講習会で合計18名の方が入会されました。



「子育て支援の仕組み」について 「子どもの発達と遊び方」について



「幼児期に起こりやすい事故とその予防及び手当」について

# ～サポート会員さんからの声をお届けします～

## 援助活動報告書より



軍手人形で、歌をうたって遊んでいたら、興味を示し小さな両手に大きな軍手をはめて踊っていました。

—利用会員宅で見守り中—

イルカが大好きな様で、「大きくなったらイルカの飼育員になりたいなあ」と目を輝やかせてお話ししてくれました。

—送迎中の車のなかで—

帰り際、かわいい挨拶とハイタッチとチューで疲れなし

—利用会員宅で見守り—

言葉数が増えて遊びも少しずつ変化してたくさんのお話をしてくれました。

—利用会員宅で見守り中—

今日は、サポートが始まって初めての雨でした。長くつで嬉しそうに水たまりに入っていました。「今日は遠足、雨だったから、〇〇〇に行ったよ」と教えてくれました。お弁当の中身やおやつの種類を目を輝かせながらお話ししてくれました。

—送迎中の車のなかで—

「運動会のかけっこは2番だったよ!」と嬉しそうに話してくれました。

—送迎中の車のなかで—

〇〇ちゃん(1歳)鉛筆で丸を書いて大喜び(#.#)

—サポート会員宅で見守り中—

## 令和元年度活動状況

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育施設等の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	48	57	82	66	50	50	44	38	37	34	40	46	592
保育施設等までの送迎	6	4	24	29	7	14	22	22	19	24	22	9	202
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	7	10	11	9	7	11	2	2	3		2		64
学校の放課後の子どもの預かり			2										2
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり									1				1
買い物等外出の際の子どもの預かり	8	11	2	1	1	3	1	1	11	5	7	3	54
家事援助	15	12	11	16	13	17	14	13			1		112
習い事等の送迎	9	12	9	6	3	9	11	18	12	15	14	13	131
その他	10	6	16	32	15	36	23	18	16	17	15	23	227
合計	103	114	155	159	96	140	117	112	99	95	101	94	1,385

## 会員数(令和2年3月末現在)

利用会員	345名
サポート会員	291名
両方会員	48名
合計	684名

令和元年度の活動は、保育施設等の保育開始時や保育終了後の子どもの預かりが全体の43%、その他が16%、保育施設等までの送迎が15%でした。その他の内訳は、利用会員が在宅中に子どもの見守りや食事介助・入浴支援、療育施設までの送迎などです。